

2024年3月期
第2四半期

決算補足説明資料

2023年11月13日

連結業績推移 – 第2四半期

24.3期 2Q累計業績

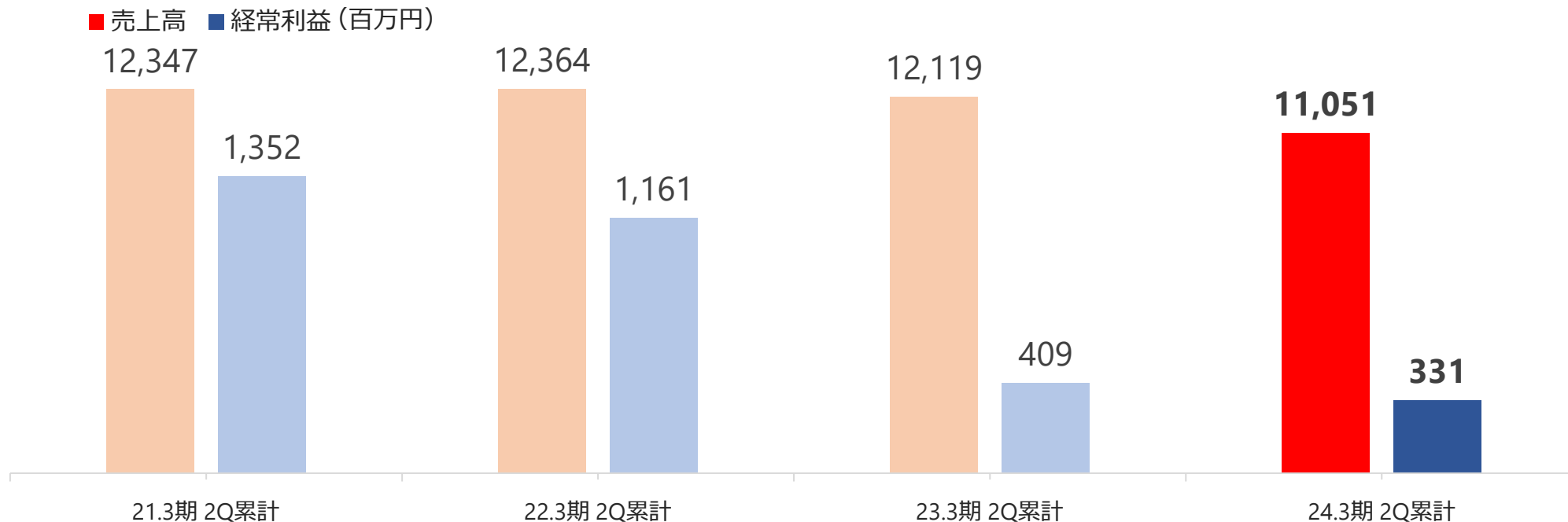
新型コロナウイルス感染症による特需効果の反動、テレビCM放映等のマーケティングコストの増加により、減収減益

<売上高> 前年同期比 $\Delta 1,068$ 百万円、増減率 $\Delta 8.8\%$

- ・新型コロナウイルス感染症による特需の反動は緩和されるものの、引き続きその影響を受けたことにより、減収となる。

<経常利益> 前年同期比 $\Delta 77$ 百万円、増減率 $\Delta 19.0\%$

- ・売上減少に伴う粗利減、及びテレビCM放映等により販管費及び一般管理費が前期同様で推移したことで、減益となる。



連結業績推移 – 第2四半期

24.3期
2Q業績

新型コロナウイルス感染症による特需効果の反動、店舗収益構造の改善、営業外費用の影響により減収増益

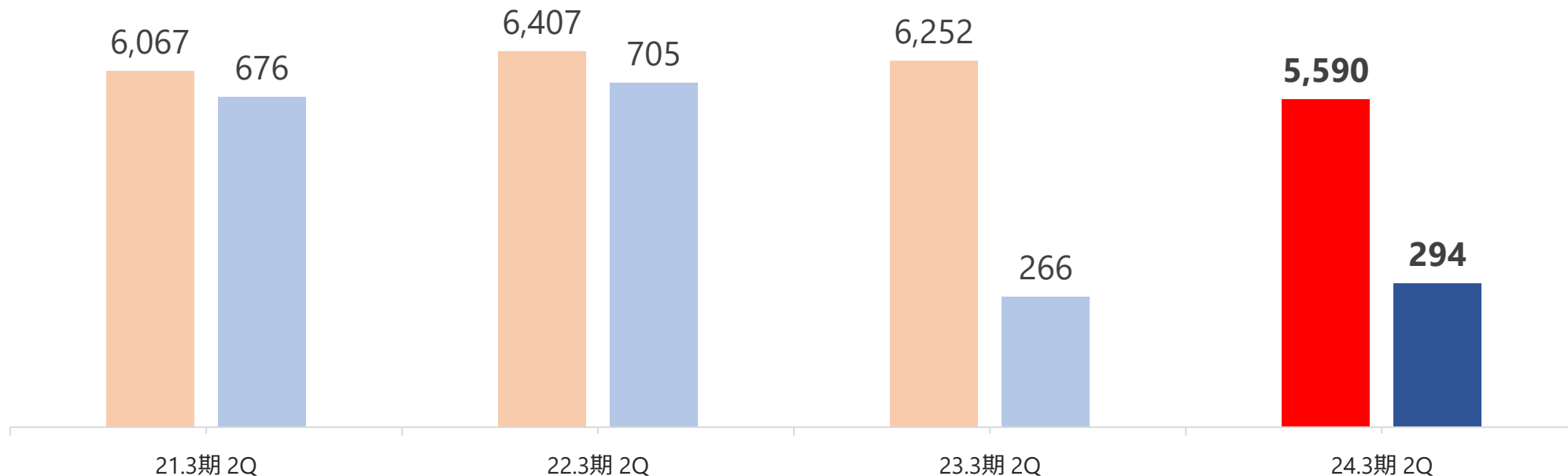
<売上高> 前期比△662百万円、増減率△10.6%

- ・新型コロナウイルス感染症による特需の反動は緩和されるものの、引き続きその影響を受けたことにより、減収となる。

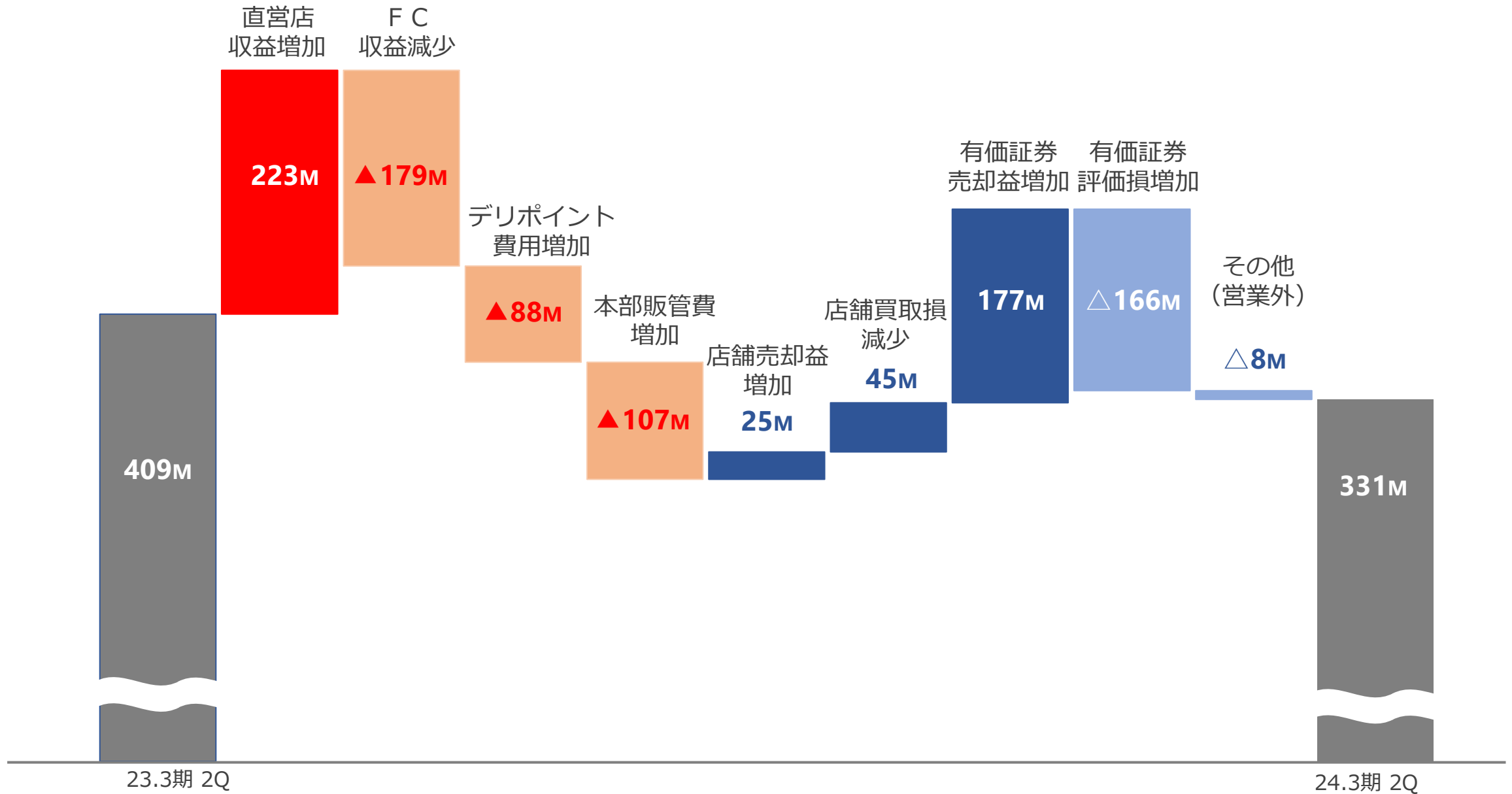
<経常利益> 前期比+27百万円、増減率+10.4%

- ・売上高の減少に伴う粗利減により、営業利益は減益となるも、直営店の売却による固定資産売却益により、増益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



経常利益の前期比増減の構成 – 第2四半期



店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	23.3期末 店舗数	出店	閉店	24.3期 2Q店舗数
宅配事業	銀のさら	382	2	△4	380
	釜寅	227	3	△2	228
	すし上等!	148	-	△4	144
	DEKITATE	1	-	-	1
宅配代行業業	ファインダイン	17	-	△5	12
その他	和食レストラン	2	-	△1	1
合計		777	5	△16	766

	23.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	24.3期 2Q拠点数
直営店	115	1	△5	0	111
FC店	272	1	-	0	273
合計	387	2	△5	0	384

連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	23.3期末	24.3期 2Q	前期比	ポイント
流動資産	9,600	9,083	△516	資産 △820百万円 ----- 【流動資産】 △ 516百万円 ・ 現金及び預金 △ 260百万円 ・ 売掛金 △ 151百万円 【固定資産】 △ 303百万円 ・ 有形固定資産 △ 60百万円 ・ 無形固定資産 △ 42百万円 ・ 投資その他資産 △ 200百万円
(うち現預金)	7,142	6,882	△260	
有形固定資産	1,017	956	△60	
無形固定資産	379	336	△42	
投資その他資産	2,542	2,342	△200	
資産合計	13,539	12,718	△820	
流動負債	3,594	3,169	△424	負債 △718百万円 ----- 【流動負債】 △ 424百万円 ・ 買掛金 △ 318百万円 ・ 未払金 △ 177百万円 ・ ポイント引当金 + 50百万円 【固定負債】 △ 293百万円 ・ 長期借入金 △ 295百万円
(うち1年内有利子負債)	616	613	△2	
固定負債	2,813	2,519	△293	
(うち1年超有利子負債)	2,263	1,968	△295	
負債合計	6,407	5,689	△718	
株主資本	7,015	6,869	△145	純資産 △102百万円 ----- 【株主資本】 △ 145百万円 ・ 四半期純利益 + 122百万円 ・ 有価証券評価差額金 + 43百万円 ・ 新株式の発行 + 23百万円 ・ 配当金 △ 291百万円
純資産合計	7,131	7,029	△102	
負債・純資産合計	13,539	12,718	△820	

取り組み：完全養殖“ サステナブル真鯛 ”の成長産業化事業に参画

当社は、愛媛県西予市三瓶地区の真鯛養殖企業3社が出資した株式会社JABUROを主体とした「養殖シナジービジネス創出事業」において、魚粉を一切使用しない完全養殖真鯛“ サステナブル真鯛 ”の国内販売促進・商品開発を担う企業として、参画しました。

今後もこのような社会的意義のある養殖魚を取扱い、日本の養殖魚の発展を支援し、全国のお客様にその価値を広げてまいります。



取り組み：安全運転を競う「SDAセーフティコンテスト」で 団体総合優勝・個人優勝

「第24回SDA* セーフティコンテスト」にて、当社から出場した「銀のさら」チームが団体総合優勝、個人優勝等の多数の良い成績を収めました。

当社では「どこでも・誰でも・安全」を第一として、様々な安全教育の取り組みを進めています。

おいしさをお届けするフードデリバリーは、安全に商品をお届けしてこそ成り立ちます。今後もこの志を業界全体に繋いでいきたいと考えています。

※SDA：全日本デリバリー業安全運転協議会





RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS